

# 2024年の主な天文現象

- 1月 4日 18時 しぶんぎ座流星群が極大(HR=20)、条件悪
- 12日 水星が西方最大離角 (-0.2等、明け方に観察のチャンス)
- 3月 25日 水星が東方最大離角 (-0.1等、夕方に観察のチャンス)
- 4月 21日 ポン・ブルックス彗星が近日点通過  
4月上旬～夕方の低空で肉眼で見えるか
- 5月 5日 昼間の火星食 (火星が月に隠される、望遠鏡が必要)  
潜入開始12:04:06、出現開始13:14:29 (松江)
- 10日 水星が西方最大離角 (+0.5等、明け方に観察のチャンス)
- 7月 22日 水星が東方最大離角 (+0.5等、夕方に観察のチャンス)
- 25日 早朝の土星食 (土星が月に隠される、望遠鏡が必要)  
潜入開始6:22:25、出現開始7:21:59 (松江)
- 8月 10日 旧七夕 (伝統的七夕の日、旧暦7月7日)
- 12日 23時 ペルセウス座流星群が極大(HR=60)、条件良
- 9月 5日 水星が西方最大離角 (-0.2等、明け方に観察のチャンス)
- 9日 土星が衝 (真夜中に南中、+0.6等、視直径19".2)
- 17日 中秋の名月 (満月は翌18日)
- 21日 海王星が衝 (真夜中に南中、+7.7等、視直径2".4)
- 28日 ツーチンシャン・アトラス彗星が近日点通過  
10月中旬～夕方の西の空で肉眼で見えるか
- 11月 16日 水星が東方最大離角 (-0.2等、夕方に観察のチャンス)
- 17日 天王星が衝 (真夜中に南中、+5.6等、視直径3".8)
- 12月 8日 木星が衝 (真夜中に南中、-2.8等、視直径48".2)
- 14日 10時 ふたご座流星群が極大(HR=30)、条件悪
- 25日 スピカ食 (おとめ座の一等星スピカが月に隠される)  
潜入03:09頃、出現04:13頃 (松江)
- 25日 水星が西方最大離角 (-0.3等、明け方に観察のチャンス)
- 12月下旬～ 日没後の空で金星・火星・木星・土星がいつぺんに見える

## 彗星

今年には肉眼で見えると予想されている彗星が2つあります。ポン・ブルックス彗星は約71年で太陽の周りをまわる周期彗星で、4月上旬～中旬頃肉眼でも見える明るさ(4等級程度)になる予報がありますが、西の空の低いところで条件はあまりよくありません。もう一つのツーチンシャン・アトラス彗星は地球に最接近する10月12日頃には1等級ほどの明るさで見える可能性があり、伸びた尾も見えると期待されています。ただ、見え方の予報は難しく、予報通りの明るさにならない場合もあります。最新の情報を確かめながら注目してみましょう。

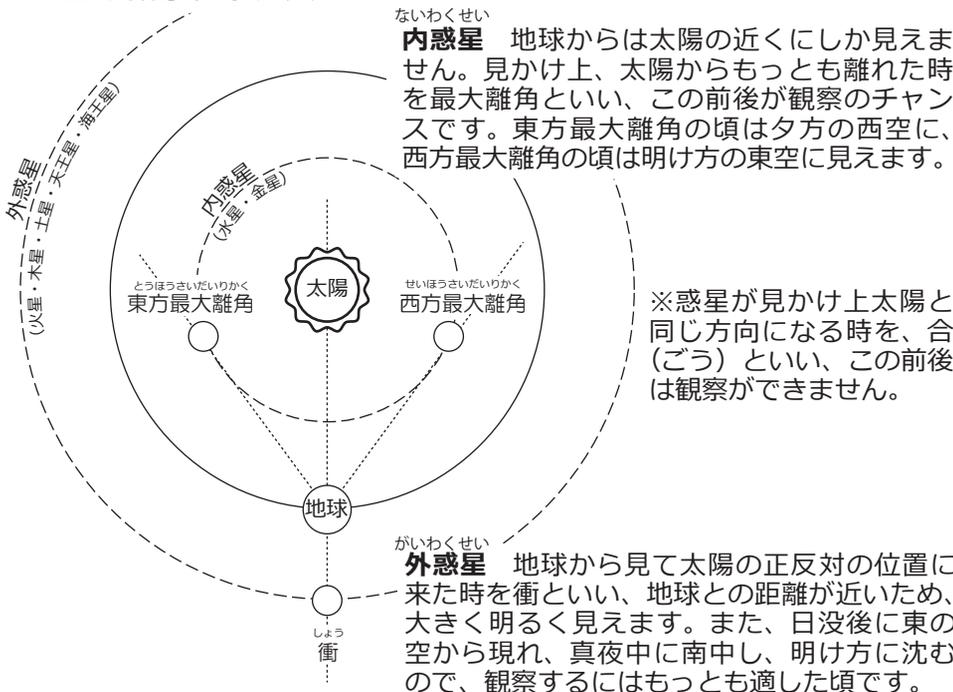
## 流星群

毎年8月の夏休み真っただ中、お盆のころに多くの流星が見られるペルセウス座流星群は、今年好条件で観察できます。ピークの時間が12日23時ごろと予報されているので、12日晚～13日未明にかけてがチャンス。夜半前には月も沈むので、よく晴れて空も十分暗ければ一時間に60個程度の流れ星が観察できそうです。

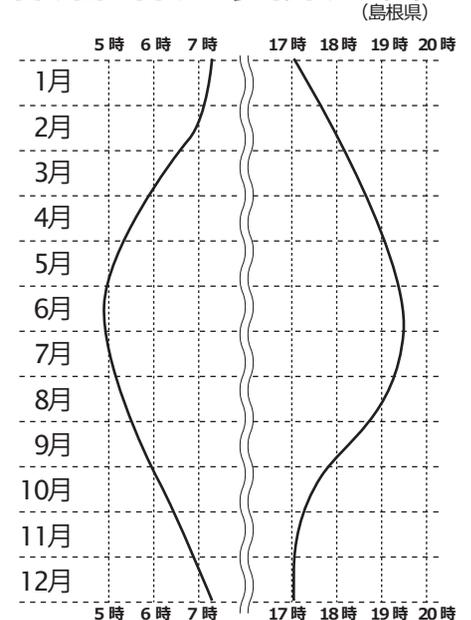
## プラネタリウム誕生100周年

1923年にドイツで近代的なプラネタリウムが試験公開されたことからプラネタリウム100周年を記念する事業が各地で行われています。期間は2023年～25年の3年にわたるので、サヒメルをはじめ各地のプラネタリウムに足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 惑星の観察チャンス



## 日の出・日の入り時刻のめやす



日の出前、日の入り後の約1時間半ほどは薄明となり、完全に暗くはなりません。